

市町村名		石垣市					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	旧空港跡地環境影響評価事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a)当初予算額	—	35,400	—	21,516	—
	(b)予算現額	—	33,165	—	21,516	—	
	(c)増減額(b-a)	—	▲2,235	—	0	—	
	(d)繰越額	52,446	—	33,165	—	25,289	
	A.計(b+d)	52,446	33,165	33,165	21,516	25,289	
	B.執行済額	52,446	0	24,545	0	4,081	
	うち交付金充当額	41,956	0	19,635	0	3,264	
	次年度繰越額	—	33,165	—	25,289	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	0.0%	74.0%	0.0%	16.1%	
予算の状況の説明	R1年度の補正額については、執行残に伴う事業費減額である。また、R1年度(繰越)の不用については、業務内容及びスケジュール等の見直しに伴う委託料の執行残である。 R3年度繰越については、空港跡地土地区画整理事業の計画変更に伴い、環境影響評価の再予測・評価等に変更が生じたことから、年度内の完了が困難となったため、環境影響評価作業にかかる委託料を翌年度に繰越した。 不用については、業務内容及びスケジュール等の見直しに伴う委託料の執行残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	評価書作成手続の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
環境影響予測評価及び準備書手続の実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	・沖縄県環境影響評価作業にあたっては、沖縄県環境影響評価条例に基づき配慮書、方法書、準備書、評価書の順に作成する必要がある。令和4年度末現在において、空港跡地土地区画整理事業の計画変更に伴い、環境影響評価の再予測・評価等に変更が生じたため、それらを反映した準備書(案)の作成を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	評価書手続の完了(環境影響評価事業の完了)	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				未完了	
	環境影響予測評価及び準備書手続の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R4成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用	目標	()	()	()	()	(約50ha)
実績						未実施	
進捗状況説明	・環境アセスメントの実施について、修正内容を反映させた準備書(案)を作成し、主管である沖縄県環境政策課へ提出準備を進めている。 ・今後は、環境審議会や県知事意見を経て、評価書を作成し、空港跡地の有効活用を図る。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・空港跡地の土地利用については、土地区画整理事業の都市計画決定が必要であり、その前提となる環境影響評価作業(環境影響評価は配慮書、方法書、準備書、評価書の手順で作成)を完了させる必要がある。 ・環境影響評価作業は令和4年度末現在で準備書(案)の作成を完了しており、今後は、令和5年度末を予定している都市計画決定に合わせて、評価書の作成まで行う必要がある。 ・環境影響評価の対象事業となる空港跡地土地区画整理事業の関連事業である公共下水道事業の変更に伴い区画整理事業の計画及び当該都市計画決定条件である環境影響評価を修正する必要性が生じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響の予測評価を踏まえ、沖縄県等関係機関との協議等を緊密に進め、速やかに評価書作成に取り組むとともに、空港跡地と土地区画整理事業導入にあたって実施中の他業務との連携及び協議等を十分に行っていく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度末予定の都市計画決定に向けて、準備書の公告、縦覧、住民説明会を速やかに進め、沖縄県及び沖縄県環境影響評価審査会との協議を行い、評価書作成に取り組むこととする。併せて、都市計画決定に係る空港跡地土地区画整理事業については、旧空港跡地連絡協議会等の関係機関との調整を十分に行い、本事業と連携して進めていくこととする。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,081	4,081	3,264	817	0
<pre> graph LR A[石垣市 4,081千円] --> B[委託料 4,081千円] B --> C["(株)パスコ沖縄支店 4,081千円"] </pre> <p>〔旧空港跡地土地区画整理事業に係る環境影響予測評価及び準備書作成業務委託〕</p>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は、指名競争入札で選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-① 新石垣空港国際線旅客施設強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
担当部課名	建設部 空港課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
			Ⅲ-7

事業内容
八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費の補助を行う。

効果発現年度
 当年度 後年度(R4年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R5年度	R6年度
		(a) 当初予算額	1,977	299,842	-	
(b) 予算現額	32,730	299,842	-			
(c) 増減額(b-a)	30,753	0	-			
(d) 繰越額	0	0	57,567			
A. 計(b+d)	32,730	299,842	57,567			
B. 執行済額	32,430	242,275	49,613			
うち交付金充当額	25,944	193,820	39,690			
次年度繰越額	0	57,567	0			
執行率(%) (B/A)	99.1%	80.8%	86.2%			
予算の状況の説明	国際線旅客施設の増改築は年度内に終了。仮設ターミナルの撤去工事のため繰越し、令和4年6月末に事業完了。補助対象外経費との関係で減額が生じた。					

活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
建築工事の一部実施の補助	目標	(実施)	()	()	()
	実績	実施			
建築工事の補助	目標	()	(実施)	()	()
	実績		実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市及び沖縄県が共同で新石垣空港国際線旅客施設増改築工事に対する補助を行った。 補助先である石垣空港ターミナル株式会社において計画通りに旅客施設の増改築工事及び仮設施設の撤去まで実施した。 				

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
			建築工事の一部実施の補助完了	()	(完了)	()
	実績		完了			
建築工事の補助完了	目標	()	()	(完了)	()	()
	実績			完了		
【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上	目標	()	()	()	()	(106,400人)
	実績					458人
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 国際線旅客施設は令和4年3月に完成し供用を開始したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国際線定期便の運航再開には至らなかった。 検疫、税関、入管等と調整し、受け入れ体制を整え台湾とのチャーター便の就航を実現させた。 国際線定期便、個人機での出入国への利用に対する要望は大きく、検疫、保安検査員等を整え受け入れ体制を強化する。 令和4年度 台湾チャーター便1往復448名、個人機1機10名 					

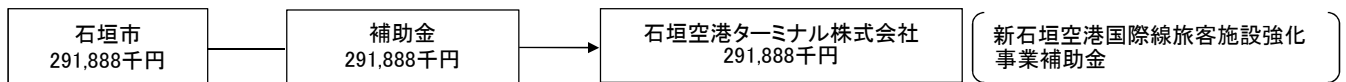
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線旅客施設の増改築工事完了後も国際線定期便の就航には至らなかった。 ・国際線定期便の早期再開に向けた要望は大きく、需要は見込める。 ・国際線旅客施設増改築工事については、コロナ禍の影響により、人員確保、工程管理に多大な負担が生じたが、仮設ターミナルの撤去まで予定どおり実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際線定期便の早期再開及び安定的就航を目指し、受け入れ態勢の強化を図る必要がある。 ・沖縄県と連携し検疫空港としての指定を目指すとともに、国際線就航に不可欠な保安検査員等の人材確保に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・国内線については、令和4年10月以降コロナ前の水準にまで回復したが、国際線定期便については関係機関との緊密な連携により早期再開を目指す。
 ・コロナ前の台湾、香港への定期便の再開に加え、新規路線の就航を視野にプロモーション活動を展開していく。
 ・ソフト面の課題である、新石垣空港の検疫空港化及び保安検査員等の人材確保に取組み、受け入れ態勢を整える。
 ・令和4年度における国際線旅客数106,400人以上という目標は達成できなかったが、アフターコロナ時代の起爆剤、インバウンドの受け皿として有効に活用し、早期に目標数値以上の旅客数を達成したい。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付対象外経費	
424,341	291,888	233,510	58,378	132,453



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	